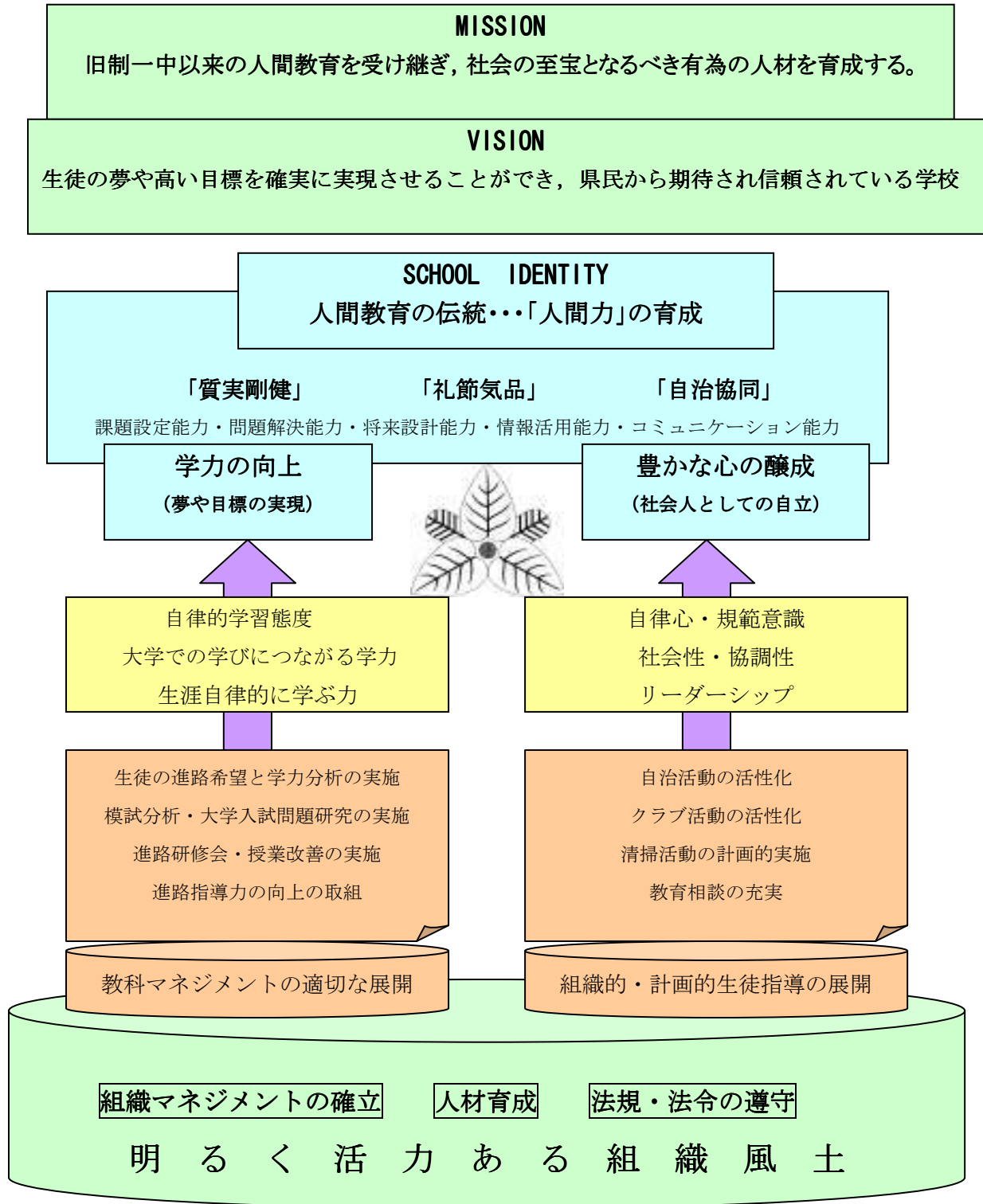


平成 21 年度 学校経営計画 GRAND DESIGN

広島県立広島国泰寺高等学校



広島国泰寺高等学校平成 21 年度学校経営計画

1 ミッション

旧制広島一中以来の人間教育の伝統を受け継ぎ、社会の至宝となるべき有為の人材を育成する。

2 ビジョン

校長を中心とした自律的な学校経営体制のもとに、高い資質・能力をもった教職員が自信をもって指導に当たり、質の高い教育活動を展開することにより、生徒の夢や高い目標を確実に実現させることができ、県民から期待され信頼されている学校

3 目標の設定

戦略目標						
達成目標	評価指標	実績値	目標値			担当部等
		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
1 生徒に高い学力をつけ、夢や目標を実現させる学校						
1 自律的学習態度を育てる授業内容を工夫する。(「質」の高い授業)	生徒対象アンケートにおける肯定的回答率(%)	新規	80	85	85	教務 教科
2 課題設定能力・問題解決能力を身につけさせる取組を行う。(生涯自律的に学ぶ力を育むキャリア教育)	生徒・教職員対象アンケートにおける肯定的回答率(%)	新規	各80%	各80%	各80%	進路 教務 生徒指導 学年
3 模試分析・大学入試問題研究を行い、指導内容や指導方法を改善する。	模試分析・大学入試問題研究をテーマとした教科会の開催回数(回)	新規	25	25	25	教務 進路
4 教科マネジメントを適切に展開する。	教科経営計画における重点目標の達成度(%)	80	85	85	85	教務 教科
5 大学での学びにつながる学力を育むため、高大接続を視野に入れた教育内容を充実させる。(豊かな創造性や独創性の育成)	講座・セミナーに対する生徒満足度(%)	94	90	90	90	理数
	大会参加回数	25	25	25	25	理数
	入賞回数	7	6	6	6	理数
6 進路研修会を定期的に開催し、担任や教科担任の進路指導力の向上を図る。	教職員全体を対象とした進路研修会の回数	新規	3	3	3	進路 教務
	各学年会を対象とし	新規	1年 6	6	6	進路 教務

	た進路研修会の回数	新規	2年 6	6	6	学年
		新規	3年 10	10	10	
	教職員対象アンケートにおける肯定的回答率(%)	新規	80%	80%	80%	進路
7 生徒の進路希望と学力分析にもとづく進路数値を設定し、その実現に向けた取組を組織的・計画的に展開する。	各学年会における進路に関する面談回数	10	10	10	10	進路 学年
	1・2年生における難関国立大学・医学科志望率	25%	25%	30%	30%	進路 教務 学年
	難関国立大学・医学科合格者数	13	30	30	30	進路 教務 学年
	国公立大学志望率	90%	90%	90%	90%	進路 学年
	国公立大学合格者数	174	200	200	200	進路 教務 学年
	1学年, 授業外平均学習時間	新規	3時間	3時間	3時間	進路 教務 学年
	2学年, 授業外平均学習時間	新規	4時間	4時間	4時間	
3学年, 授業外平均学習時間	新規	5時間	5時間	5時間		

2 生徒に社会人としての自立に必要な資質・能力を身につけさせる学校

8 生徒の自律心や規範意識・徳性などを育むため、組織的・計画的な生徒指導を行う。	遅刻者数	532	500	450	400	生徒指導
	担任の遅刻連絡票活用率(%)	新規	90	95	100	生徒指導 学年
	問題行動者数	8	6	5	4	生徒指導
	指導票による服装違反指導率(%)	新規	90	95	100	生徒指導 学年
	携帯電話指導者数	18	15	10	5	生徒指導
9 生徒のリーダーシップや社会性・協調性などを育むため、校友会活動やホームルーム活動等の活性化を図る。	リーダー研修開催回数	4	4	4	4	生徒指導
	生徒対象アンケートにおける学校行事満足度(%)	新規	90	90	90	生徒指導
10 学習とクラブ活動の両立にむけて、学年会や各部と連携して部活動等の活性化	部活動加入率(%)	91.2	80	80	80	生徒指導 学年 教務

を図る。	県大会参加部数 (除 理数)	17	15	15	15	進路
	中国大会以上参加 部数 (除 理数)	10	5	5	5	
11 教育相談の充実を図る。	教育相談希望者 に対する相談実施率 (%)	新規	100	100	100	保健 生徒指導 学年

3 自律的な経営体制を持ち、信頼される学校

12 情報の共有と進捗管理のため、教頭と部 任が定期的に連絡会を行う。	連絡会回数	新規	35	35	35	教頭 主任
	教職員対象アンケート における情報の共 有と進捗管理の適切 さへの肯定的回答率 (%)	新規	80	90	90	
13 中学校や塾などの教育関係者との連携を 通して、高レベルの受験志願者の獲得 に努める。	オープンスクール、 授業体験会、地域別 学校説明会の参加 者述べ人数	1859名 (505, 688, 666)	1500	1500	1500	教頭 総務
14 年間を通して、計画的な情報発信を行う。	ウェブサイトの月当 たり平均更新回数	5~9	4	4	4	総務
	保健便り・清美便り 発行回数	20	20	20	20	保健
	学年通信発行回数	10	10	10	10	学年
	進路通信発行回数	10	10	10	10	進路

4 行動計画

戦略目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 生徒に高い学力をつけ、夢や目標を実現させる学校			
1 自律的学習態度を育てる授業内容を工夫する。「質」の高い授業)	①自律的学習態度を育てる授業内容に関する研修の実施→具体的な工夫と実施 ②授業評価アンケート実施(年2回) ③教科主任による指導・助言 ④教科における改善方策の検討	教科によって「質の高い授業」が実施され、生徒が自律的に学習に取り組んでいる。	教務 教科
2 課題設定能力・問題解決能力を身につけさせる取組を行う。 (生涯自律的に学ぶ力を育むキャリア教育)	①キャリア教育推進委員会による年間計画の提示と主旨説明 ②前期終了時におけるキャリア教育の視点に立った、各学年・分掌・教科・部活動等の教育活動全体に対する検証と、課題の明確化 ③学年末における、キャリア教育の目的の達成度に関するアンケートの実施と分析、検証(生徒・教職員対象アンケート)	生徒一人一人がその発達課題の達成を通して、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付けることをねらいとして行われる教育活動が体系的に構築され、実施されている。	進路 教務 生徒指導 学年
3 模試分析・大学入試問題研究を行い、指導内容や指導方法を改善する。	①模試分析 ②センター試験分析 ③大学入試問題研究 ④校外研究会への参加 ①～④は全て授業へ還元 ⑤習熟度別授業における授業内容の改善	各教科で指導内容や指導方法についてのノウハウ・情報が蓄積・共有されている。	教務 進路
4 教科マネジメントを適切に展開する。	①教科経営計画の策定 ②重点目標の設定 ③教科主任による指導・助言	教科主任が適切な指導・助言を行い、「質の高い授業」が実施されている。	教務 教科
5 大学での学びにつながる学力を育むため、高大接続を視野に入れた教育内容を充実させる。 (豊かな創造性や独創性の育成)	①サイエンス講座の実施 ②サイエンス探訪セミナーの実施	学校設定科目による授業や研究活動等により、生徒に高い満足度を与え、探究する能力を高めている。	理数
	①コンテストや学会、イベントへの参加促進 ②理数ゼミ活動の推進(研究内容の高度化)	すべての班が、全国大会入賞を目標に活動している。	理数

<p>6進路研修会を定期的に開催し、担任や教科担任の進路指導力の向上を図る。</p>	<p>①進路計画を策定(各学年, 教務部と各期毎)→学年会に提示 ②全教職員対象の進路研修会の開催 ③各学年会対象の進路研修会の開催 ④進路研修会実施後のアンケート実施</p>	<p>進路指導部が進路指導力向上にむけた効果的な研修会開催能力を身につけている。 担任や教科担任が進路指導力を身につけ、そのノウハウの蓄積と継承がなされている。 模擬試験の分析により、教員一人一人が各学年の課題や教科の課題、生徒個人の課題を見極め、課題解決のために日常の教育活動に活かしていく力を身につけている。</p>	<p>進路 教務 学年</p>
<p>7生徒の進路希望と学力分析にもとづく進路数値を設定し、その実現に向けた取組を組織的・計画的に展開する。</p>	<p>①生徒一人一人の進路希望をより高い志望に導き、そのための課題を明らかにし、具体的な指導を行うことでモチベーションの維持を図るための個人面談や三者面談の実施 ②難関国立大学志望者の発掘と志望者を対象とした講演会・ガイダンスの定期的開催 ③教員を対象とした難関大学志望者への指導法に関する外部研修会への各教科の参加 ④生徒一人一人が授業外の自主的・自律的な学習の充実に向けて行動するために、各学年会・進路指導・教務部と連携した取組の展開</p>	<p>個人面談や三者面談を効果的なものにするために、その内容と最良の方法についてのノウハウが蓄積されている。 難関国立大学を志望させるための根拠が明確になっており、教員全員が共有している。 難関国立大学の入試制度や入試問題傾向やその対策について、整理されている。 生徒一人一人の家庭学習を阻害する要因を分析し、自主的・自律的な学習に向かわせるための指導法について研究し、その成果が共有されている。</p>	<p>進路 教務 学年</p>

2 生徒に社会人としての自立に必要な資質・能力を身につけさせる学校

<p>8生徒の自律心や規範意識・徳性などを育むため、組織的・計画的な生徒指導を行う。</p>	<p>①毎日の校門指導 ②遅刻連絡表による保護者との連携 ③頭髪・服装等のマナーアップキャンペーン(4・8・1月の年3回×2週間) ④指導票による頭髪・服装違反生徒の指導 ⑤自転車の運転等のマナーアップキャンペーン(5・6・10・11月の年4回×1日) ⑥「心を磨く朝の講話」の実施(年10回) ⑦清掃活動等の計画的実施 ⑧各学年のLHRの実施 1 学年 犯罪防止教室(携帯電話) 2 学年 薬物乱用防止教室 3 学年 法律教室</p>	<p>生徒自らがリーダーとなり、自治活動(校友会活動)を通じて後輩を指導し、自律心や規範意識・徳性および校訓を体現する活動を行っている。 生徒自らが校友会活動を通じて後輩を指導し校内美化に努めている。</p>	<p>生徒指導 保健 学年</p>
<p>9生徒のリーダーシップや社会性・協調性などを育むため、校友会活動やホームルーム活動等の活性化を図る。</p>	<p>①リーダー研修の開催(年4回) ②社会活動(ボランティア活動等)への参加促進 ③校友会活動を通じて学校行事(文化祭・合唱祭・体育祭・クラスマッチ等)の計画・立案</p>	<p>生徒自らがリーダーとなり、自治活動(校友会活動)を通じて後輩を指導し、社会性・協調性や校訓を体現する活動を行なっている。</p>	<p>生徒指導</p>
<p>10学習とクラブ活動の両立にむけて、学年会や各部と連携して部活動等の活性化を図る</p>	<p>①校友会主催での各部の入部オリエンテーション ②仮入部期間の設定 ③各クラブでの積極的な勧誘 ④学年・分掌・教科との連携</p>	<p>部活動に80%以上の生徒が参加し、自律的な活動で文武両道を果たし、中国大会以上の大会に5クラブ以上参加している。</p>	<p>生徒指導</p>
<p>11 教育相談の充実を図る。</p>	<p>①教育相談の充実改善と適切な企画・運営 ②人間関係作りに関するアンケート(学級診断尺度 QU)の実施)</p>	<p>スクールカウンセラーと連携し、個々の生徒に応じた相談活動が行われている。</p>	<p>保健 生徒指導 学年</p>

3 自律的な経営体制を持ち、信頼される学校

<p>12 情報の共有と進捗管理のため、教頭と部主任の定期的な連絡会を行う。</p>	<p>①教頭と主任による進捗管理を目的とした連絡会の定期的開催</p>	<p>情報の共有によって教職員が自校の目指す姿を共通認識している。また、様々な取組が教頭と主任の進捗管理のもと、計画的に行われている。</p>	<p>教頭 主任</p>
<p>13 中学校や塾などの教育関係者との連携を通して、高レベルの受験志願者の獲得に努める。</p>	<p>①夏季授業体験会の実施 ②夏季地域別学校説明会の実施 ③秋季校友会運営によるオープンスクールの実施 ④夏季・冬季中学校訪問の実施 ⑤中学校や塾の本校訪問の受け入れ</p>	<p>教職員が自校の目指す姿を共通で認識しており、平素から学校内外で自然な形で自校の良さをアピールできている。生徒が自らの通う学校に信頼と矜持を持っており、よき伝統の継承と後輩の獲得に努めている。</p>	<p>教頭 総務</p>
<p>14 年間を通して、計画的な情報発信を行う。</p>	<p>①行事等毎の学校ウェブサイトによる発信 ②保健便り・清美便りの発行 ③学年通信の発行 ④進路通信の発行</p>	<p>ウェブサイトの記事が、行事の紹介に終始することなく、自校のビジョンを語りかけている。</p>	<p>総務 保健 学年 進路指導</p>